

【ACKグループが10周年記念事業 CSRと領域拡大両立 地域活性化や交通安全狙う】

### ACKグループが10周年記念事業

## CSRと領域拡大両立

### 地域活性化や交通安全狙う

ACKグループは設立10周年の記念事業として、競争力向上を同時に成り立たせて、CSR（企業の社会的責任）活動と事業領域「創造」「経営」の実現を目的に、活動を両立させる「CSR版重点化プロジェクト」を始動する。オリエンタルコンサルタンツを、CSR版重点化プロジェクトの中心に各事業会社の技術やノウハウを結集し、目録やターゲットに、オリエンタルとリサーチなどをつなげる事業心（福岡市博多区、美濃を提案。社会的課題の解

野崎秀則社長は、千葉県柏市と連携して始めた交通安全プロジェクトを、CSR版重点化プロジェクトの中心に各事業会社の技術やノウハウを結集し、目録やターゲットに、オリエンタルとリサーチなどをつなげる事業心（福岡市博多区、美濃を提案。社会的課題の解

会社同士が連携。自動車運転のモタリングシフトを使い、市の保有する200台の車両の位置情報や速度、映像などの

グループ各社が持つ技術やノウハウを活用して社会的な課題やニーズに応える取り組みを、受け身ではなく自ら動いて展開すること。建設コンサルタントとして新たなビジネスモデルが構築できるとみる。ターゲットとなる分野は、現時点でインフラの維持管理・保全、交通関連、公設公園の指定管理など。15年9月期～16年9月期の2年間、複数のプロジェクトを同時並行で進める。

ACKグループは、インフラ保全・運営管理や再生可能エネルギー、事業経営など8つの事業領域を重点分野に位置付け、人材や資金などの経営資源を集中的に配分している。10月時点で70件以上の重点化事業が進行しており、今後3年間で15億円を投資する方針も明らかになっている。

とでCSR経営を推進。うとともに、事業活動を企業としての役割や存在を通じて社会貢献を果たし、感差市民に理解してもらいたい。

各社で実証実験やモデル事業を積極展開するこ